



岐大通 2013

2013 J.League Division2

第5節 徳島ヴォルティス 戦

3/24(日) 13:00~

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

FC岐阜大好き通信(岐大通)

3/24号

編集発行:『岐大通』製作委員会

今号の製作担当:

ささたく & 吉田鑄造

today's guest : 徳島ヴォルティス 2012 J2 13勝 12分 17敗 勝ち点 51 第 15位

1955年に創設の『大塚製薬サッカー部』が母体。旧JFL時代に「ヴォルティス徳島」としてJリーグ参入の機運が高まった時期があったが断念。その後はアマチュアの強豪としてJFLに君臨した。2004年に「徳島ヴォルティス」としてJ参入を目指すこととなり、JFLを優勝(2003年に続く連覇)して翌年にJ2加盟。2011シーズンはギリギリまでJ1昇格圏を争ったが、新しく小林監督を迎えた昨シーズンは低迷。(吉田鑄造)

開幕2連敗の後、2連続引き分けとなったFC岐阜。この2試合で勝ち点を少しずつ積み上げることはできたが、残念ながら現在は最下位に甘んじている状況。しかし、現在は4試合/4節と、まだまだ序盤戦。10位の千葉ですら勝ち点は5と、わずか3点差だ。まだまだ(油断していられる状況ではないが)焦る段階ではない...とはいえ、そろそろ勝利が見たい、特にホーム長良川での勝利を見たいと誰もが感じているのも、またサポーター心理の一つだろう。

ここ2試合は(対戦相手にも依るだろうが)無失点に抑えることができている、選手の組み合わせを試しながら、DF面は安定してきていると言えるだろう。しかし、やはり課題は攻撃面。開幕2試合ではゼロだったコーナーキックについては、さすがに不名誉な更新記録の回避はしているものの、開幕からの4試合でノーゴールという結果は、J2全2チームで最下位だ(他のチームは、合計2~9点獲得している)。また、試合中に攻撃が機能している時間帯・チャンスの方が圧倒的に少なく、また決定力不足にも泣かされ、チームとしての得点へのプロセスが見出せていない。当然のことながら、無失点に抑えれば、勝ち点1を得る(引き分ける)ことはできるが、得点を奪えなければ、勝ち点3(勝利)を手に入れることはできない。行徳監督も、いろいろと試行錯誤しながら前線の最適の組み合わせを探している最中だとは思いますが、やはり選手ひとりひとり(特に攻撃陣)がシュートの意識や「自分がゴールを決めて試合に勝つ!」というような積極さ・貪欲さを我々に見せてほしいと思う。

さて、今節の対戦相手は徳島ヴォルティス。現在は16位とシーズン前の評判に比して出遅れているが、前節にはJ通算100勝を達成して勢いに乗ろうとしているチームだ。岐阜出身のFW#1津田など、実力のある選手が揃っており、苦しい試合展開が予想される。しかし、徳島との通算対戦成績は5勝5敗2分と完全に五分、しかもホーム戦は4勝1敗2分と、完全に相性のいい対戦相手でもある。みんなの声援で選手を後押ししてゴールを奪い、今節こそは初勝利の歓喜をホーム長良川で味わおう。

また、前節の愛媛戦で退場処分になった#8李漢宰選手は出場停止。第3節で負傷した#14井上選手も治療中、#6服部選手も出場が危ぶまれるところで、昨年から主力3選手を欠くという厳しい台所事情だが、逆に言えば、他の選手にとっては非常に大きなチャンスでもある。ここで奮起して、スタメンの座を奪うくらいの活躍を是非とも期待したい。(ささたく)

2013J2

順位表 第4節

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績(岐阜から見て)

1	神戸	9p	+3	7	4	A
2	京都	8p	+4	9	5	
3	鳥取	8p	+3	6	3	
4	松本	7p	+1	5	4	
5	G大阪	6p	+2	8	6	
6	群馬	6p	+1	2	1	H
7	山形	6p	0	6	6	
8	福岡	6p	0	5	5	
9	富山	6p	0	3	3	
10	千葉	5p	+2	4	2	
11	横浜FC	5p	+1	4	3	H
	愛媛	5p	+1	4	3	A
13	北九州	5p	0	4	4	
14	水戸	5p	-1	4	5	
15	岡山	4p	0	3	3	
16	徳島	4p	-1	5	6	
17	栃木	4p	-1	2	3	
18	熊本	4p	-3	5	8	
19	長崎	4p	-3	3	6	
20	東京V	3p	-1	2	3	
21	札幌	3p	-2	2	4	
22	岐阜	2p	-6	0	6	---

岡田歯科医院

岐阜市加納新本町 1-23
tel:058-273-8998



本庄工業株式会社

http://www.honjp-woodream.com/

ALADDIN

何も無い店だけど・・・
心の花が咲く・・・
何も無い店だけど・・・
心癒される・・・
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

次回 HomeGame

第7節 京都サンガ戦

4/7(日) 13:00

@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

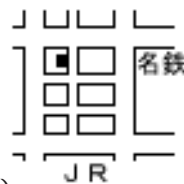
投稿募集!

gidaidohr@hotmail.co.jp

「いらっしやいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。

休:火曜(定休日が変わりました!)



【第3節】岐阜0-0群馬

勝ちたかったなあ……。今季初めてC Kを得たとかいう些細な話ではなく、シュート数が岐阜13本に対し群馬が2本と終始相手を圧倒した試合。シュート数だけではなく、司のヘディング・シュート、平のG Kとの1対1、美尾のポストを叩いたシュート、染矢の後半のシュートなど決定機もたくさん演出し、相手G Kにも汗をかかせた内容だっただけに勝ち点1ではもったいなかった。これほど相手を圧倒しっぱなしの試合は記憶にない。終了の笛が鳴らされた瞬間は「この内容で勝てないんだったら、いったいどうすれば勝てるんだろう？」という思いに駆られ、挨拶に来た選手たちに湧き上がった「FC岐阜」コールに呼応できないままだった。実に情けない話ではあるが……。上から目線ではなく、ホントに「勝たせてやりたい」試合だった。それでも、あえて厳しい言い方をさせてもらえば、この日の試合は「ゼツタイ勝たなければならない試合」だ。さらに誤解を恐れずに言うと「今季のワースト・ゲームになりうる試合」。繰り返すが、この内容で勝てないんだったら先はないとも思える試合だった。ウチのできがよかったというより、それ以上に群馬の出来がグダグダ。松下や熊林がいなくてホッとした思いと、逆に彼らが抜けただけでこうも変わるのかと恐ろしくもあった。群馬のお粗末さはあちらの監督も業を煮やしたようで、ハーフ・タイムには「これはプロ・リーグの試合なんだ！」と喝を入れたらしい(試合後のインタビューより)。それでも、後半も変わったようには見えなかったし、相変わらずこちらのターンが続く中で決定機が作れそうだったが、ゴール前でもシュートを撃たず、パス・コースを探してばかりのようにも見えたとはいえないか？選手は「コースがなかった」と言うだろうが。ただ、群馬が、半年後のアウェイ戦でもこんなテイタラクだったらありがたいんだけど、そうは問屋が卸さないだろうなあ。つくづく、もったいない試合だった。今季も厳しい戦いを強いられることは承知しているつもりだ。残念だけど、試合の前からどの相手には勝てるなどという皮算用ができるほどの戦力は保持していない。そのぶん、どの相手にも全力で立ち向かい勝ち点を積み重ねていくしかない。群馬戦は勝ち点2を落とすというべき試合だったが、結果が出た以上は勝ち点1を得たと前向きに受け止めるよりほかはない。

選手には今まで以上に、ゴールを狙いシュートを決めてやるという姿勢、オレがオイシイところを持ってくという野心を持って試合に臨んでもらいたい。その気持ちを鼓舞するために次の試合も、せいっぱい声の続く限り応援していく。是が非でも、勝利を勝ち取ってほしい。(ぐん、)

2試合続けてコテンパンにやられて、守備は出来てたんじゃなかったのかよという状況だった岐阜隊は、右SBを秀人にしてアラタを前に上げた布陣が不成功、攻撃の活性化は開幕戦とは比べ物にならない。これまでの相手が超J2級だっただけ？対戦相手の群馬のコンディション不良もあったか、試合は圧倒していた。しかし、ポストや相手G Kの攻守に阻まれてノーゴール。「日曜夜のアウェーでこんな試合観せられたら群馬サポもキツイよね」なんて話してたけど、「日曜夜のホームでこんなに押し点獲れない試合観せられたら」岐阜サポだってちょっとキツイ。タイラが負傷して1トップに清本を入れたのを終了前に再び中島に交代。「なんで最初から中島じゃないんだ」という声を聞いたけど、それは『1トップ向きとは思えないタイラが1トップのファースト・チョイスでセカンド・チョイスが存在しない』岐阜隊の現状でもある。控えの攻撃陣は「ヒトが足りない現状なのに自分が選ばれない」ことの意味を考えて練習に励んでほしい。サッカー選手は試合に出てナンボ。現状は「チャンス」なんだぜ。(吉田鑄造)

【第4節】愛媛0-0岐阜

残念ながら、愛媛遠征の地・ニスタには個人的には正直あまり良い思い出がない。通算成績は4分2敗、なんと0得点5失点。ほとんど現地で見てるハズだけど、(記憶の中では)どれもグダグダな試合内容で、わざわざ遠い愛媛の地まで行って、両チームともやる気あんのか...っていう試合、あるいは(2試合で5失点してるんだから)コテンパンにやられた試合を見せられたというような、スタンドがピッチから低くて遠くて見にくい観戦も相まって、個人的にはちょっとトラウマ的な記憶が残ってしまっている。イベント的には(既に全国区となっている「一平くん」をはじめ？として)魅力的なキャラクターがいたりして楽しめるんだけど(苦笑)。

しかし、シーズン初勝利に飢える身としては、時間と予算が許す限りは行くしか！今回こそはニスタ初得点を！と愛媛遠征を敢行したのだけれど...やっぱり岐阜サポ的には『グダグダ魔境・ニスタ』なのかなあ... (溜息&苦笑)。試合序盤から、前節の群馬戦では圧倒的に得点のチャンスを作っていた(けど決めきれなかった(苦笑))攻撃のパターンが全く機能しなかった。もちろん中2日(しかも前節はナイター)でのアウェイということで、選手たちも疲労が蓄積していて動きが鈍かったし、試合開始直前まで雨が降っていて、ピッチコンディションがよくなかったこともある。1トップの井上選手が負傷で欠場した影響もあるだろう。それにしても...せっかく良いブロックの守備でボールを奪っても、それを攻撃にもっていく最初の段階で、(素早く攻撃へ移ろうとして焦るのか、あるいは周りの選手の気持ちが切り替わる前にボールが来てしまうのか)単純なミスでボールを奪われて再び守備に回る...といった場面が気になった。奪ってから一旦誰かに預けて落ち着けるか、あるいはボールを持って動かすか、前線でのFW陣のプレー以前の段階で、もう少し工夫が欲しいと感じた。後半に入ると、少しは改善されて攻撃の形もできてくるようになったけれど、いかんせん決定力が(苦笑)。ゴール前で思い切ってシュートを撃てばいいと思う場面で消極的にボールを回してしまい、守備を固められて結局は手詰まりになる...というシーンが、これまた何度も見られたのは残念だった。

さて、前半24分と後半13分に、それぞれPKを1本ずつ献上した訳だが...まあ、前半の秀人のプレーは、PK採られても仕方がないかもしれない。相手は枠を外してくれたけど(笑)。しかし、後半の関田(とデズ)のプレーは...あれファールか？と唖然とした。もしあれがファールならペナルティ内でDFは何もできないし、それに、後半1分に杉山新がクロスボールを巡ってペナルティ内で倒されたプレーがファールじゃなかったのは何だったんだ？と(録画を確認したら、解説の方も苦言を呈してらしたんですね(苦笑))。これで失点してしまうのか、流石にPK2本で無失点には...しかし！守護神・時久のスーパーセーブ！これで(横浜FC戦での1本と併せて)PK3本で無失点とは、なんという鉄壁！一気に盛り上がる岐阜サポ。これで、1点決めて勝てたら最高だったんだけどなあ...残念ながら、引き分けで試合終了。

PK2本で0点なのだから、愛媛サポからはブーイングも聞こえてきたけど、岐阜サポとしては(ジャッジは別として)納得の引き分けと言えるだろう。しかし、G K時久が結果を出したのだから、もっと攻撃陣には奮起して欲しかったなあ...とも。

ともあれ、次節(今節)は中3日でのホーム戦。選手たちもサポたちも気持ちを切り替えて、今度こそ、得点を！そして今期初勝利を！そのために、スタジアムに集う全員が全力を尽くそう。(ささたく)

実は愛媛のホームを訪れるのは7年ぶり。つまり、愛媛がJリーグに上がる前。というより、愛媛のJFL最終節。対戦相手のデンソーの応援に行ったのだが、スタジアムD Jさんが「歴史の証人になりましょう！」なんて煽りまくるもんでアドレナリンがグツグツと煮えたぎった次第。結局は2-0で愛媛が勝って《証人》にさせられてしまったわけだが.....。

時は過ぎて、愛媛×岐阜@ニンスタは4試合でいまだに岐阜はノーゴール。今シーズン3試合でノーゴールの岐阜には厳しいミッションかもしれないが、だからこそ、岐阜隊のニンスタ初ゴール！ついでに今季初勝利！という「歴史の証人」になってやるーじゃねーか。と勢いこんで望んだものの、やはり厳しいミッションだったようで。

前節の群馬戦でも感じた「タイラが1トップだった理由」を、負傷でタイラを欠いた状況で再認識。スタメンFWがケガなのにサブFWがサブのまま、要するに「あなた達にはスタメンは任せられません」ってことだよ？控え攻撃陣は奮起すべし！

前半はほぼ互角。ただ、岐阜の攻撃がノープランだというのは観ていてよくわかった。個人技で相手守備陣を抜ける技術があるわけじゃないので、最後は相手を『崩す』手続きが要るのに、そのプランがないから「最後はどうするか」で迷っているうちにボールを奪われてしまう。崩せないなら崩しきる前にミドルぶっ放すとかの代案もありそうだけど、それもなく。ぼくはあまり好きな表現じゃないのでめったに使わないのだけど、この日は何度か「シュートで終わろう！」と叫びましたです。

後半なかばにはホームの愛媛が明らかに疲労で動けなくなり、岐阜が相手をべったり押しまくる展開に。これは勝てえええええっ！って思ったけど、そこで点が奪えないのがいまの岐阜隊（苦笑）。攻撃でアクセントをつけてたアラタが交代で下がったら（そこで清本でなく森安をチョイスしたあたり、行徳監督のプランの第1優先は引き分けて勝ち点1だったのかな？）岐阜隊も疲れてきて「岐阜タイム」も終わってノーガードの蹴り合いに。最後はカウンターを止めたハンジェが2枚目の警告を受けて退場。試合終了間際だったのでそんなに影響はなかったし、あそこは止めないと大惨事になってたと思うので、ハンジェはファール覚悟でよく止めてくれたと思う。

という試合だった.....なんて書いたら観ていた人は怒るよね。なんてったって時久！2本めのPK、よく止めてくれた！あれで獲られて負けるのが昨年までの岐阜だったんだ。PKの判定自体はスカパーの解説者も疑問を呈するほどだったそうだが（とはいえ、帰りのバスで一緒だった愛媛サボさんの話だと、あの解説者：大西貴氏は愛媛隊と審判に実に厳しい方なんだそうだ）、疑問の残る判定だって入れられたら1点。ホントに、よく止めてくれた。

さて、帰りのシャトルバスの中での愛媛サボさんとの会話でわかったこと。いまの愛媛は主力DFが3人故障の緊急事態だったとのこと。「岐阜さん、走りますね～」と褒めてくれたけれど、敢えてネガティブに受け取れば「岐阜の攻撃は走り負けても当座凌ぎのDFで抑えきれんですよ」と示唆してくれている、ということにもなる。

かくして、今季全試合失点中の愛媛×今季無得点の岐阜の「裏『ほこ×たて』対決」は、岐阜の“勝ち”という不名誉に終了。今節の対戦相手・徳島もこれまで今季全試合失点中で「裏『ほこ×たて』対決・第2レグ」になってしまったけど、さて。（吉田鑄造）

なぜだか、どういうワケだか今まで1勝しか挙げていない愛媛戦。特に、圧倒的な戦力差があるわけでもないのに苦手な相手。特に砥部でのアウェイ戦ではいまだに得点すらできていない。まあ、スコアレス・ドロウが3回ほどあり勝ち点は得られているのだが。思い返してみても、不思議な試合か気持ち悪い試合になってしまうというイメージだけが残っている。オマケに、試合の前日も、試合の翌日も好天なのに当日だけ雨が降る始末。これも「アウェイの洗礼」というヤツか？

なんとか雨は上がってくれたものの、ピッチ中央のメインスタンド側には水が溜まっている様子でウチも相手も滑って転ぶ場面もあった。これ以上負傷しないでくれよ、と祈りつつ応援していたが、やはり因縁というかジンクスというか、実に不思議な内容になっていったのが恐ろしい（苦笑）。

1試合でPKを2つ与えるのも珍しいが、それを2つともしのでしまうという試合は記憶にない。そんなに試合を見ていないだけなのかもしれないが.....。1本目の秀人のファウルは、取られてもしかたないのかな？というプレーだったが、あんなにフワッと吹かすPKも珍しい。ボールの勢いから推測するとコントロールしようとしてのミスキック？2本目は向こう側だったため、よくわからないがこれまたかなり甘いキックだったように見えたがどうだろう？

いや、やはり見事に止めた時久を素直にホメておくべきだな？開幕してからすでに3本のPKを与えているけど、1本も決められていないというのは特筆モノじゃないかな？とはいえ、流れの中であわやの場面も作られたし、全体的に見れば愛媛の方が押していたという試合。岐阜はなかなか好機が作れない。ようやく終盤に流れを引き寄せたものの決定機を作るまでには至らず、なんというか歯がゆい思い。オマケに、カウンターからの敗戦につながる失点を防ぐためとはいえ、この日2枚目のイエロー・カードでハンジェを失う羽目に。服部の復帰が望めない中でハンジェ抜きで次節を迎えるというのはかなり痛い。それでも、スタメンの11人とベンチ入りの7人にガンバってもらいよりほかはない。苦境の時こそ見せ場だといえる。ホーム・長良川で思いっきり暴れてほしい！

それにしても、また日曜日だけ不穏な天気予報。昨季のような巡り合わせは、もうカンベンしてもらいたいんだが... ..。（ぐん、）

